

健やかな体の育成プラン

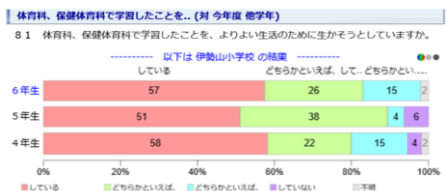
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①体育学習を通して、運動に親しむ態度、自ら健康に向かって取り組む姿勢を育成します。②児童自身の健康について把握し、体づくりの意識が高められるように、保健教育や委員会活動を中心に興味・関心をもてる活動を企画します。
担当 自分づくり部会・体育部	

健やかな体に関わる本校の状況

(1) 健やかな体に関わる児童の実態
 ○横浜市学力・学習状況調査の結果では、「体育科の学習が好きですか。」という項目に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合が高い一方、学年によっては、「どちらかといえばきらい」、「きらい」と答える割合も市平均より高い。



○横浜市学力・学習状況調査の結果では、「体育科で学習したことを、よりよい生活のために生かそうとしているか。」という項目に対し、「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」の割合が市平均と同等である一方、「どちらかといえばそう思わない」と答える割合も学年によっては多い。



(2) これまでの学校の取り組み状況
 ○体育の授業では、実態を踏まえた授業づくりに努め、子ども自らが自己を見つめ直し、進んで運動に取り組もうとする手立てを講じた。
 ○縄跳び集会を行い、課題に向かって粘り強く運動に親しめるような機会を設けた。
 ○給食委員会による「もぐもぐの実」の取り組みでは、食に関心をもてるよう企画してきた。
 ○保健委員会を中心に、ポスター掲示やハンカチ・ティッシュ調べなどを行い、児童自身が意識できるようにしてきた。

今年度の目標

○体育学習を通して、運動に親しんだり、自己の体を知り、見つめ直したりすることで、よりよい体づくりの意識が高められるようにする。○保健教育や委員会活動の取り組みを中心に、健康に興味・関心をもてる企画を立てたり、自己管理能力を養ったりする。

目標を実現するための具体的行動プラン

上半期

(1) 体育学習を通して、運動に親しむ態度を育成する。
 ・子どもの実態を把握し、実態に即した授業改善を行っていく。具体的には、前学年までの既習事項をもとに単元構成を行い、目指す資質・能力を具体的にし、提示することで見通しをもった学習を進められるようにする。加えて、ICT機器を活用したり、意図的なグループ活動を設けることで、個別最適な学び、協働的な学びのある授業づくりを行っていく。
 ・午前40分5時間制を弾力的に活用し、運動時間の確保をする。具体的には、60分での授業を積極的に行い、授業時間内に課題に向かって粘り強く運動に取り組む時間を確保する。
 (2) 体育委員会での活動を通して、自己の体を見つめ直し、よりよい体づくりを行い、健康についての意識が高められるようにする。
 ・体育委員会では、更なる運動機会を設けるために、鉄棒週間といったものを新たに設定することで、より運動に親しむことができるようにする。
 (3) 保健教育や保健委員会の活動を通して、健康について興味・関心をもち、自己管理能力を養う。
 ・児童の健康課題を把握し、校内や関係機関と連携して指導をしたり、保健委員会で具体的な活動内容を決めたりして、児童が健康的な生活習慣を意識できるようにする。
 食に関する取組については、下半期に具体的行動プランを作成し、行動していく。

下半期